

第13回 さいたま子ども短歌賞

応募票あり



3つのステップで短歌を詠んでみよう!

? 短歌ってどんなもの?

心を動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。
【例：声に出して読んでみよう】
「楽しい」と 話しかければ 「楽しい」と 笑いあふ人の いるあたたかな 春の 風景

STEP1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。
自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

- 学校でのできごと
- 家族、友達
- 好きなスポーツ
- 動物、植物
- 行ってみたい場所
- 夏休みの思い出
- 将来の夢
- 自然、風景

STEP2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思い浮かぶ言葉を、たくさん書いてみよう。
このとき、文字の数は気にしないで。自由にたくさん書いてみよう。

STEP3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせ、五・七・五・七・七のリズムにあわせてみよう。
でき上がったら、声に出して読んでみるとういよう。

※字余り（文字数が多いこと）・字足りず（文字数が少ないこと）でも大丈夫！
短歌は、リズムが大切。リズムが合うように、いろいろな言葉を試してみよう。

上級者の方へ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう!

① 比喩（たとえる） 例：心は花びら（心は花びらのように）	② 擬人（物に人さしをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）
③ 擬声（物に人さしをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）	④ 擬物（物に物さしをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）
⑤ 擬動（物に動かしをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）	⑥ 擬静（物に静かしをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）
⑦ 擬色（物に色をあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）	⑧ 擬味（物に味をあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）
⑨ 擬臭（物に臭いをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）	⑩ 擬触（物に触れをあたえる） 例：「笑」が花びら（「笑」が花びらのように）

■応募規定

- 応募作品は、未発表の自作短歌に限りです。
- 学校の授業で創作した作品は可とします。
- 1人3首まで応募できますが、入賞は1人1首とします。
- 他の短歌コンクールとの二重投稿や既に発表されている短歌・歌詞等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。
- 応募作品の原稿は、返却しません。
- 応募票は、7月14日の週に配付しました。

8月29日（金）締め切り